



鳥取県

臓器・アイバンクだより



2017.7
No.

16

～グリーンリボンは移植医療のシンボルです～

理事長就任のごあいさつ

公益財団法人鳥取県臓器・アイバンク

理事長 魚谷 純



井藤久雄前理事長の後を受けて、2016年7月1日より本法人の理事長を務めております。

ご存知のように、鳥取県臓器・アイバンクは2013年4月1日、公益財団法人に移行しました。これまでご尽力いただいた多方面の関係者に深謝いたします。新公益法人法に則り、評議員会は本法人の業務を指導・監督する立場がより明確となり、各種決裁事項への権限強化が図られました。このため組織改編が行われ、移植医療への造詣が深い関係者が評議員として新たに選任され、今日に至っております。私自身は鳥取県医師会長として本法人の理事長に就任いたしました。眼科医として角膜移植には多少の経験と知識はあるものの、移植医療全般にわたっては門外漢です。移植医療への造詣が深い関係者の皆様のお力をお借りして法人の運営を行っていきたく思いますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、我が国の移植医療は多くの隘路を抱えながらも着実に進展しており、特に脳死下臓器提供は数こそ少ないものの、移植後の成績（生着率）は世界に冠たるもので、移植医療レベルの高さを誇っております。

臓器移植はドナーの存在を必要とする特殊な医療であり、国民の理解とともに検証を伴う社会システムの整備が必要です。脳死下臓器提供症例は厚生労働省の臓器専門委員会および「脳死下での臓器提供事例に係る検証会議」にて検証がすすめられています。2017年3月までに278例目の検証作業を終えており、概ね妥当な臓器提供が実施されていることが報告されています。

2010年7月に改正臓器移植法が施行されて以降、例年10例前後であった脳死下臓器提供が2011年は44例と増加しており、その後も2012年と2013年は47例、2014年は50例、2015年は58例、2016年は64例と、少しずつ着実に増加しています。そして、その多くはご家族が臓器提供を判断された事例です。提供を決めた理由としては、提供者本人の意思を忖度して「誰かの役に立ちたい」などの「社会貢献」が最も多いです。国民の脳死に対する概念や臓器提供への考え方に変化が生じている現れではないでしょうか。

鳥取県ではこれまでに、心臓停止下臓器提供と脳死下臓器提供とあわせて累計5件の臓器提供および119件の角膜提供が実施されています。また、2017年3月末までに実施された献腎移植数は11例、生体腎移植数は83例、生体部分肝移植は2例、角膜移植は199眼で、臓器提供及び移植数は多いとは言えませんが、県民の臓器提供や移植医療に対する意識は着実に高まっております。

公益財団法人鳥取県臓器・アイバンクは県内外の各種団体と協力して、県民への移植医療に関する普及啓発活動や医療機関への支援などを通じて、臓器・眼球提供が円滑に実施されるよう移植医療の発展に寄与していきます。

ドナーの尊いご意思を尊重し、実現するためにも、本法人の目的・活動にご理解とご支援を賜り、ひいては移植医療の円滑な実施が推進されますよう、ご協力をお願い申し上げます。

鳥取県臓器・アイバンクでは、移植医療を県民の皆様にご理解いただくための普及啓発活動や、県内の医療施設における移植医療に関する院内体制整備の支援、円滑な臓器提供および臓器移植のための各関係機関との調整を行っています。平成28年度の活動をご報告します。

“移植を受けた子ども達の作品展”を開催



日程

- | | | |
|------|-----------|----------------|
| ●東 部 | 鳥取市立中央図書館 | 8/8～8/17(10日間) |
| ●西 部 | イオンモール日吉津 | 8/18～8/25(8日間) |
| ●中 部 | 倉吉未来中心 | 8/31～9/4(5日間) |

移植を受けて元気になった子ども達が描いた絵画などを展示しました。偶然に会場に来て見て下さる方が多く、移植手術で命を繋いだ子どもたちの生きる喜びに溢れた作品に感動されていました。来年度も多くの皆さまにご来場いただければ幸いです。

作品展来場者の感想

- みんな自分のことをそんちょうしていいね。ちょっとでもみんながしてあげればいいと思う。(10代女性/西部)
- 臓器提供に興味はありましたが、カードに未記入のまま引き出しの奥へ…。帰ったら主人と話して記入したいです。(30代女性/西部)
- 臓器移植にあまり賛成ではなかったのですが、移植された方の笑顔や作品を見ると、大切な生きる道なのだという感想を持ちました。(40代男性/東部)
- 臓器移植をして元気になっている姿が目に見えます。ここまでくるのに家族のみなさんは大変な思いをしていると思います。どうか移植を受けたみなさんが元気でられますように。(40代女性/中部)
- 元気をいただきました。特に我々健常人には大きな刺激です。(70代男性/中部)



県内の自動車学校に 免許証意思表示促進カットアウトを 設置していただきました

- | | |
|----------------|------------|
| ●11月16日～12月13日 | 鳥取県中央自動車学校 |
| ●12月14日～1月12日 | 米子西部自動車学校 |
| ●1月13日～2月12日 | 山陰中央自動車学校 |

10月は臓器移植普及推進月間です

街頭キャンペーンを開催



平成9年10月の臓器移植法の施行後、毎年10月は臓器移植普及推進月間です。街頭キャンペーンでは、関係団体やボランティア等総勢114名の方にご協力いただき、意思表示の呼びかけや説明リーフレットの配布を行いました。また、合計約800の方に臓器提供意思表示カード・健康保険証・運転免許証等の所持、記入等に関するアンケート回答もいただきました。この調査も今年で19回目となり、当財団の貴重なデータとなっています。

沢山の方のご参加ありがとうございました。

日 東部地区 10月16日 イオン鳥取北店
程 西部地区 10月23日 イオンモール日吉津
 (中部地区の開催は地震のため中止させていただきました。)

ご協力いただいたボランティアの皆様は以下のとおりです。 (順不同、敬称略)

鳥取久松ライオンズクラブ
 鳥取千代ライオンズクラブ
 鳥取いなばライオンズクラブ
 鳥取砂丘ライオンズクラブ
 鳥取ライオンズクラブ
 米子城山ライオンズクラブ
 米子中央ライオンズクラブ
 境港ライオンズクラブ

倉吉総合看護専門学校
 米子医療センター附属看護学校
 米子北高等学校
 鳥取県腎友会
 鳥取県看護協会
 鳥取県薬剤師会
 鳥取県東部福祉保健事務所
 米子市福祉保健部健康対策課

山陰労災病院
 鳥取市立病院
 鳥取赤十字病院
 さとに田園クリニック
 吉野・三宅ステーションクリニック
 鳥取大学医学部附属病院眼科医局
 鳥取大学学生部生活支援課
 一般個人

グリーンライトアップを実施



移植を待つ患者さんに、希望の光を届けよう！

全国同時開催



(公社)日本臓器移植ネットワークが実施しているキャンペーン「グリーンライトアップ プロジェクト」へ参加しました。全国の有名なランドマーク・建造物を移植医療のシンボルである緑色に照らし、移植医療や意思表示について気付いて考えてもらうことを目的としたイベントであり、今回、鳥取県では初めて実施しました。

実施期間 10月16日(日)~10月23日(日)



米子駅前(米ッ子合掌堂) 鳥取駅前北口(ケヤキ広場)

鳥取県院内移植コーディネーター会議を開催（年2回）

鳥取県院内移植コーディネーターは、県内の医療機関の職員が鳥取県知事より委嘱されて（任されて）おり、自施設内の移植医療についての窓口的業務、院内体制整備、普及啓発の役割を担っています。会議では、各病院の取り組み発表や研修を行い、院内移植コーディネーターとしてスキルアップ・情報交換の場となっています。

第13回 鳥取県院内移植コーディネーター会議

（平成28年7月22日（金） 会場 鳥取県立中央病院）

＜内容＞

- ①鳥取県院内移植コーディネーター委嘱状交付式
- ②事例報告：「脳死下臓器提供を経験して」
臓器提供者の主治医
- ③報告：「レシピエント術後経過と提供後の家族対応」
鳥取県臓器移植コーディネーター
- ④グループワーク：「職種別ケーススタディ」ほか

第14回 鳥取県院内移植コーディネーター会議

（平成29年2月14日（火） 会場 鳥取県立厚生病院）

＜内容＞

- ①報告：「院内体制整備と1年間の活動報告」
各施設の院内移植コーディネーター
- ②報告：「平成28年度の意識調査・活動について」
鳥取県臓器移植コーディネーター
- ③講演：「移植医療の現状について」
日本臓器移植ネットワーク移植コーディネーター
- ④講演：「臓器提供の意思確認
－全病院的取り組みとシステム作り－」
名取 良弘 氏
（株式会社麻生 飯塚病院 副院長・脳神経外科部長）



献眼登録確認フォローアップ事業

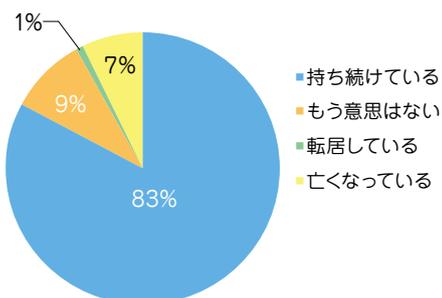
鳥取県のアイバンク登録者数は現在約2,400名ですが、実際の献眼件数は平成26年度は1件、平成27年度は0件、平成28年度は4件です。鳥取県だけでなく全国的に実際の献眼件数は少なく、登録者がお亡くなりになった際、アイバンクに連絡されないケースが多いと考えられています。

そこで、当財団では日本アイバンク協会より委託を受け、当アイバンク登録者に登録状況を再確認していただき、かつ、家族の理解を深めるために、献眼登録確認フォローアップ事業を実施しました。

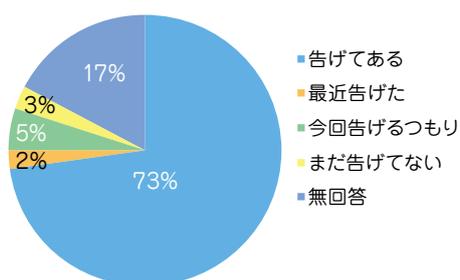
本事業では、アイバンク登録者に対して、献眼登録意思確認アンケートや広報紙などを送付し、登録継続の意思確認を行いました。

アンケート結果は以下のとおりです。

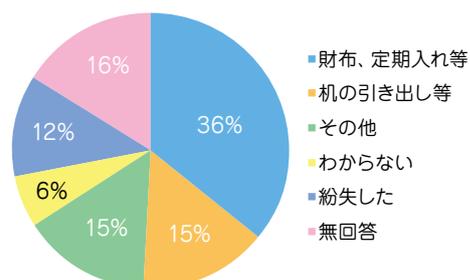
① 献眼の意思



② 家族への周知状況



③ 登録カードの保管場所



鳥取県の移植事情

県内で行われた死後の臓器提供			県内の医療機関で行われた移植		
	平成28年度	累 計		平成28年度	累 計
心停止後の臓器提供	1件	4件	献腎移植 (亡くなった方からのご提供による腎臓の移植)	2件	12件
脳死での臓器提供	0件	2件			
眼球提供(献眼)	4件	44件	角膜移植 (当アイバンク斡旋)	8件	75件

※累計は平成9年度(臓器移植法施行)～平成28年度まで

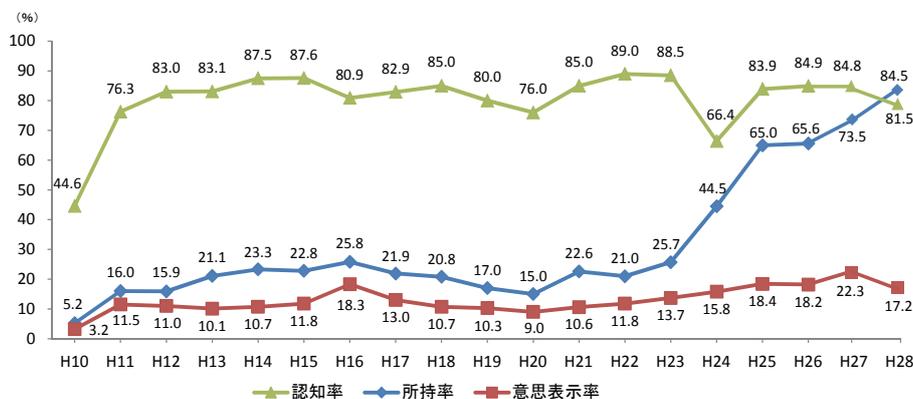
鳥取県の臓器移植に関する意識調査

当財団では平成10年より、毎年10月に臓器提供の意思表示率などの調査を行っております。たくさんの方に調査へご協力いただき、誠にありがとうございました。(平成28年度回答者数796名)

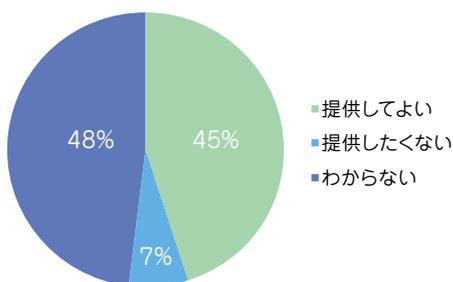
質問項目

- ①認 知 率 … 「臓器提供意思表示カード・意思表示欄のある運転免許証や保険証で臓器提供の意思表示ができることを知っていますか？」
- ②所 持 率 … 「臓器提供意思表示カード・意思表示欄のある運転免許証や保険証を持っていますか？」
- ③意思表示率 … 「臓器提供の意思を表示していますか？」

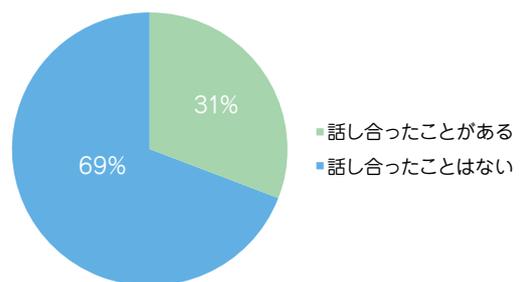
鳥取県の認知率・所持率・意思表示率



④臓器提供に対する考え



⑤家族との話し合い



地域の皆様の御協力のもと、普及啓発活動を行いました

今年もたくさんの方々にご協力いただき、ありがとうございました。

参加イベント



- 看護の日イベント
(山陰労災病院・鳥取大学医学部附属病院・米子医療センター)
- 鳥取県看護協会東部地区看護フェア
- 航空自衛隊美保基地航空祭
- 鳥取県看護協会通常総会
- 米子市健康フェスティバル
- 鳥取大学医学部錦祭
- 境港ライオンズクラブ主催境みなと寄席

講義(出前講座)

湯梨浜みらいライオンズクラブ
倉吉ライオンズクラブ
倉吉ロータリークラブ
米子ライオンズクラブ
西伯南ライオンズクラブ
境港ライオンズクラブ
米子南ロータリークラブ

倉吉西高等学校
鳥取市立桜ヶ丘中学校
湯梨浜町立東郷中学校
米子工業高等専門学校
米子北高等学校
鳥取県立歯科衛生士専門学校
鳥取歯科技工専門学校

米子医療センター附属看護学校
鳥取大学医学部保健学科検査専攻
西部薬剤師会
中部薬剤師会
五千石公民館人権研修
三徳地域協議会対話集会

広 報

- 日の丸バス後部ステッカー広告(1年間、10台)
- 「臓器移植普及推進月間特集広告」朝日新聞(10/7)
- 「目の愛護デー広告」読売新聞、日本海新聞、朝日新聞(10/10)
- 「年賀広告(意思表示)」朝日新聞(1/1)



退職のご挨拶

平成20年5月、当財団が鳥取県庁医療政策課内より鳥取大学医学部内へ移転する際、ご縁があって採用となり、約9年間鳥取県臓器移植コーディネーターを務めさせていただきました。

私が臓器移植コーディネーターとして活動する中で、臓器移植コーディネーターの役割というのは、患者さんやご家族の権利を守り、ご意思を最大限尊重することではないかと感じました。そして、ご意思を尊重するために、病院や関係機関の皆様のご協力・ご尽力をいただき、誠に感謝しております。

また、県民の皆様への啓発活動を通し、たくさんの方とご縁が繋がり、大きな輪となり、後任に引き継ぐことができますことを皆様に感謝いたします。

今後の鳥取県臓器・アイバンクの発展を願って退職の挨拶とさせていただきます。

永栄 幸子

賛助会へのご協力・ご寄附をいただき、ありがとうございました。

皆様から頂きました賛助会費・寄附金は普及活動、事務局運営に必要な経費として支出いたしました。

●団体会員 (順不同、敬称略) 合計 39 団体 780,000 円

鳥取いなばライオンズクラブ	医療法人明穂整形外科	医療法人さとに田園クリニック
境港美保ライオンズクラブ	のぐち内科クリニック	特定医療法人財団同愛会博愛病院
鳥取ライオンズクラブ	日本赤十字社鳥取赤十字病院	うえます内科・小児科クリニック
鳥取中央ライオンズクラブ	日野病院組合日野病院	医療法人社団上福原内科クリニック
倉吉ライオンズクラブ	日南町国民健康保険日南病院	医療法人社団三樹会吉野・三宅ステーションクリニック
米子城山ライオンズクラブ	南部町国民健康保険西伯病院	医療法人真誠会真誠会セントラルクリニック
鳥取久松ライオンズクラブ	医療法人清生会谷口病院	社会福祉法人恩賜財団鳥取県済生会境港総合病院
境港ライオンズクラブ	公益財団法人鳥取県保健事業団	医療法人ふなごし眼科ペインクリニック
鳥取県立厚生病院	医療法人社団魚谷眼科医院	医療法人面谷内科・循環器内科クリニック
医療法人三木眼科	医療法人清和会垣田病院	独立行政法人国立病院機構米子医療センター
株式会社エミネット	公益社団法人鳥取県医師会	医療法人社団ミオ・ファティリティ・クリニック
鳥取信用金庫	一般社団法人鳥取県薬剤師会	医療法人ファミリークリニックせぐち小児科
鳥取県腎友会	公益社団法人鳥取県看護協会	公益社団法人鳥取県中部医師会立三朝温泉病院

●個人会員 合計 114 名 315,000 円

県職員	57名	理事・監事・評議員	5名	医師会	37名	一般	15名
-----	-----	-----------	----	-----	-----	----	-----

●ご寄附(順不同、敬称略)

米子ライオンズクラブ	200,000円	浦木 誠一	10,000円
境港ライオンズクラブ	126,557円	坂口 由美	10,000円

※うち120,000円はアイバンク活動へのご寄附

平成28年度 決算報告

平成28年度も鳥取県からの補助金、皆様からいただいた賛助会費、ご寄附、県債・国債の運用益、角膜等のあっせん手数料等により活動しましたのでご報告します。(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

経常収益 (単位:円)	
基本財産運用益	843,357
受取賛助会費	1,095,000
角膜等あっせん受取手数料	2,100,000
鳥取県受取補助金	14,231,753
(公社)日本臓器移植ネットワーク受取補助金	1,020,884
(公財)日本アイバンク協会受取補助金	166,095
(公財)日本アイバンク協会受取受託費	213,652
受取寄附金	346,557
受取利息	143
経常収益計	20,017,441

経常費用 (単位:円)	
事業費	14,320,127
臓器バンク	11,969,551
アイバンク	2,350,576
管理費	3,415,468
経常費用計	17,735,595
当期一般正味財産増減額	2,281,846



臓器移植法施行20周年

日本では1997年に臓器移植法が施行され、今年で20周年を迎えます。

この間に、約4,500名の移植が必要な患者さんたちが、多くの方のご協力のもと、亡くなられた方による臓器移植を受けることができました。しかし、これまでにその10倍以上の患者さんが移植希望登録を行い、ドナーが現れるのを待ちながら闘病生活を送っています。

もしもの時に、臓器を提供する、提供しない、どちらも大切なお気持ちであり、等しく尊重されます。

これからもより多くの方へ理解の輪が広がるように、移植医療を応援していきます。



賛助会員ご加入・ご寄附のおねがい

当財団の運営は、基本財産の運用益と皆様からの賛助会費やご寄附による支援により行っております。当財団の活動に皆様の温かいご支援をお願いいたします。

当財団の賛助会員にご加入いただいた場合、特定公益増進法人への寄附金として、金額により税制上の優遇措置が受けられます。(詳しくは最寄りの税務署へお問い合わせください。)

当財団にご連絡いただければ、払込手数料が無料になる払込用紙を送りいたします。また免税申請をされる場合には、当財団発行の領収書と税額控除に係る証明書が必要となりますので、お申し付けください。

賛助会員会費

団体年会費 一〇 20,000円
個人年会費 一〇 2,000円

振り込み先

郵便振替 01350-5-92999

口座名義

公益財団法人
鳥取県臓器・アイバンク

腎臓移植・移植医療についてのご相談(無料)

腎臓移植や移植医療についてのご相談やご質問に移植コーディネーターがお答えいたします。

また、専門医師へのご相談も調整させていただきます。

移植に関する素朴な疑問など、お気軽にお電話ください。

TEL 0859-34-4809
(平日8:30~17:00)

専門医師(腎移植認定医)

杉谷 篤 先生：米子医療センター副院長(外科)

高橋 千寛 先生：米子医療センター臨床研究部長(泌尿器科)



お問い合わせ・ご相談・献眼について・アイバンク登録など



公益財団法人 鳥取県臓器・アイバンク TEL0859-34-4809

〒683-8504 米子市西町36番地の1(鳥取大学医学部内) ホームページ <http://www.zouki-t.net>

臓器・アイ

検索